



都祭広一議員  
(創 真の会)



## 公共交通の確保対策を！

問 JRのダイヤ改正による特急

し、おさむの減便、連結車両数の減少、土曜・休日の運休等により、市民の利便性に影響が出ている。特に東京に直結する特急列車がこれ以上少なくなってしまうと東総地区の死活問題に発展すると考える。対策は考えているか。

答 「市長」今後の対策として、千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じて、今後もJR東日本に対して粘り強く要望活動を続けてまいりたい。

## 今こそ、海岸の砂浜再生を！

問 千葉県では、2020年に十九里浜侵食対策計画が策定されたが、計画が遅々として進んでいない。侵食が進み、砂浜が消滅しないうちに実行しなければ、海岸線の

防風や防砂にも影響を及ぼす。市民が望む、潮干狩りや海水浴ができる海岸の整備を夢で終わらせてはならない。養浜事業をはじめとする海岸線の再生に向けた取組を伺う。

答 「市長」海岸の侵食対策は、千葉県が主体となり事業を行っている。養浜は、地元関係者の了解を得た上で実施すると伺っているが、現在、得られておらず、試験養浜が実施できない状況とのことである。

本市にとつて海岸は貴重な地域資源であり、調整が整い次第、早期に養浜が実施されるよう国・県に要望してまいりたい。

## 官民連携で、空き公共施設の活用を！

問 市内の使われなくなった公共施設について、管理手法や活用案も進展していないのではないか。

答 「企画課長」では、市民の利便性は低下しているものと認識をしている。市からJR東日本に対して直接要望を提出することも検討したい。

「市長」旧匝瑳小学校について

と等を踏まえ検討を進める。旧野菜学校給食センター及び旧のさか幼稚園については、過疎対策としての活用等を踏まえ検討を進める。民間事業者との意見交換等によるサウンディング型市場調査については、有効な一つの手法として、併せて検討していく。



林 明敏議員  
(市民クラブ)



## 野栄中野球グラウンドの改修について

問 ALL匝瑳ベースボールクラ

ブチームが発足した経緯は、中学校のスポーツ全般において、強豪高校への推薦等の観点から、中学野球の選択肢が硬式野球クラブの加入が必然的になつてきている。

その他の野球が好きだが高校まで続けるか分からぬ少年少女たちから、中学校に進学したときにどういう選択肢が良いか、という相談を受けたことがあるが、中学校の野球部に所属するという選択肢を選べない現状に直面した。部員が9人そろわない現実がある。

また、通年で中学1年から3年生までのチームを指導できないかといふ要望がたくさんあり、スタッフと協議を重ねた結果、これから野球少年少女の夢の応援をしたいと意見が一致したため、2021年4月から現在の軟式野球クラブ「ALL匝瑳」が発足した。

答 「教育長」ALL匝瑳の指導者

の皆さんには大変感謝している。

旧野栄町時代に町営球場の意味合いを兼ねて施設を充実させたという話は承っているが、現状の財源や使用目的等を考えたとき、改修は非常に厳しい。

## 子どもが遊べる屋内施設について

問 「福祉課長」近年、異常気象に

より子どもたちの屋外活動に支障を來す気象条件が増えており、雨天時等の屋内施設の整備について、昨年度実施した子ども・子育てに関するアンケート調査でも複数の意見があつた。

子どもの健全な成長を支えるためにも屋内施設の整備については、県内市町村の整備状況等、調査研究を行っていく。

答 「ゼロカーボン推進課長」改正気候変動適応法の全面施行により、市町村長は公共施設等の冷房設備を行つて、

有する施設をクーリングシエルターとして事前に指定し、熱中症特別警戒アラートが発令された際に一般開放できるとされているので、周辺自治体への情報収集を行い、指定場所について検討する。